

## 徳島大学国際センター

事業名	留学生との協働地域国際化プログラム「国際交流サロンー日本語でしゃべらんで」			
実施期間	2011年6月～2012年1月			
場 所	徳島大学国際センター			
参加者	外国人留学生	地域住民・企業等	その他	合計
	161 名	193 名	34 名	388 名

### <実施内容>

徳島大学国際センターは、地域を対象とした公開講座「国際交流ボランティア入門ー地域に住む外国人を支援するとは」をセンター教員5名で数年実施してきた。その講座の修了者有志を母体としたボランティアグループと共催で月一回土曜日(除. 4・8月)に「国際交流サロンー日本語でしゃべらんで(話そう)」を実施している。このサロンは、徳島の行事や日本文化を地域住民(含. 日本人学生)と留学生と一緒に学ぶことを手段とし、お互いが知り合うことを目的としている。留学生にとっては、人的ネットワーク作りにもなり、また地域住民(以下地域)にとっては、留学生を通して生の異文化に触れる機会となる。



6月 地域と留学生で「書道を楽しもう」

国際交流サロン(以下サロン)は、中心となるボランティアグループが企画・運営・当日の進行をと表に立ち、国際センターはそれを支える裏方として係わり、より地域主導型を目指している。各月のテーマの講師は、地域住民の中から講師を出したり、1月の「世界の料理を楽しもう」のように参加留学生・地域双方が料理を持参して、紹介しあうという形態もある。また11月の「留学生の国への誘いー日本語によるお国紹介」のように留学生リード型のものもある。殆どの場合、日本人と留学生がペアになって、互いに助け合って学ぶスタイルをとる。体験終了後、毎回最後の30分は、1対1、または小グループに分かれ、今日のテーマやお互いのことについておしゃべりを行う。

11月の「留学生の国への誘い」は日本語でお国紹介をしたり自国のお茶やお菓子をふるまったり民族衣装や民俗芸能を見せたりと毎回留学生が運営する。今年度は、クウェート・台湾紹介と台湾のお茶がふるまわれた。

2011年度は、このサロンが6年目に入り、心新たにスタートした時期に中島助成金を得て、以前から希望のあったフィールド・トリップや異文化理解教育のワークショップ、書道と華道の展示会「地域と留学生の書華道展」も行った。フィールド・トリップは「徳島探訪ー徳島の今と昔を知る」というテーマで、大塚製薬板野工場・藍産業で栄えた脇町の見学や藍染め体験を行った。留学生がどんなことに興味・関心を持ち、どんなことに共感するかを知るいい機会となった。またワークショップ「地域のための日本語教育」では、「やさしい日本語」とは何か、留学生と地域がグループを作り、講師の指導のもとディスカッションやグループ毎にボランティアとしての日本語指導案を考えた。専門的なことを一緒になって考え、各グループは達成感を得た。



7月 阿波踊りの練習後の留学生・地域の方のおしゃべり



10月 グループに分かれて「異文化教育ワークショップ」

## <参加者からのコメント>

ジャガー・オユン・エルデネ Jagar Oyun-Erdene (モンゴル)



11月 フィールドトリップ「徳島探訪ー徳島の今と昔」

「こくさいこうりゅうサロン」で「しよどう」をしました。しよどうが大すきです。モンゴルでは、日本ごとおなじようなきかたがありますが、一どもかいたことがありませんでした。いつかかきたいとおもっていました。日本人の先生はとてもやさしくてしんせつでした。そして、とてもじょうずでした。日本人とたくさんはなすことができました。それから「せかいのりょうり」もさんかしました。いろいろな人とはなすことができましたし、日本ごと少しじょうずになりましたから、ちょっとわかるようになりました。でも、もっとたくさんはなしたいとおもいました。

もっと、いろいろなイベントにさんかしたいです。もっとしよどうをしたかったです。モンゴルへかえってから、モンゴルごと日本ごとでしよどうをしたいとおもいました。そして、りょうりのつくりかたをならいたいです。それから、日本人は、せかいでーばんながいきをするとききました。そのひみつをしりたいです。

イブラヒム・アルフレール Ibrahim Alhulail (クウェート)

四国ではクウェート人は私しかいないので、先生に「国際交流サロンー日本語による留学生のお国紹介」でクウェートについて発表してみてもと言われたとき、やっとクウェートの文化について皆さんに伝えられると嬉しかったです。できるだけクウェート人しか知らない情報を伝えるようにしました。インターネットで得られる情報だけだったらおもしろくないと思って、発表を作りました。そして民族衣装を着て発表しました。昔と今のクウェートの比較をしてよかったですと思います。そして自分の経験した部分だけが戦争の話もしてよかったですと思います。発表後、皆さんは私と一緒に写真を撮るのに並びました。芸能人みたいでした。多分、民族衣装のおかげだと思います。そしてクウェートのことに興味を持った方がたくさんいてびっくりしました。クウェートのことを皆さんに伝えられてよかったです。あの日は、私は国籍としては一人だったのですが、皆さんのおかげで全然一人という気持ちはありませんでした。



11月 留学生の国への誘いー日本語によるお国紹介



1月 世界の料理を楽しもう